

私の留学体験記

広島県立福山葦陽高等学校 2年 大西 琳希 (おおにし りんき)

留学期間 平成30年2月3日 ~ 平成30年2月17日 (2週間)

留学先 ワイパフ高校 (ハワイ, アメリカ)



今回の留学が僕の初めての留学でした。というのも初めての海外, 初めてのアメリカ, 初めてのハワイ, そして初めての飛行機でした。1か月前頃から「ああ, あと1か月でハワイかあ。」というような期待と不安が混ざったような不思議な感覚でした。2週間前からはうまく会話を聞き取れるのか, 自分の英語力で2週間ホストファミリーとうまくやっていけるのか, 不安で頭の中がいっぱいでした。1週間前からは, 開き直ってしっかり楽しんでやろうという期待で当日を迎えました。

まず初めに怖かったのが, 飛行機です。もうとにかく乗る前は怖かったのですが, 滑走路の最後のレーンに入った瞬間, 瞬時にスピードが上がって飛び立つのを体感して感動しました。と同時に, 僕の不安も飛行機のように飛び立ちました。飛行機の旅は長く感じたのですが, これから未知のことがたくさん待っていると思うと楽しみで耐えることは簡単でした。

ハワイに到着すると, 飛行機を降りた瞬間から「これがハワイか」とすぐに思ったほど暖かかったです。ゲートのすぐ外でホストファミリーが僕たちを待っていて, 3つもレイをくれました。とてもいい匂いでした。

ハワイ生活1日目の最初のお買い物はスーパーに昼食を買いに行きました。緊張していたし, 飛行機で出された機内食を食べてそれほど時間が経っていなかったのも, いらないと言ったのですが, 結構食べてしまいました。常におなかいっぱいというアメリカンスタイルを痛感しました。その日はホストブラザーがサッカーの試合があると聞いていたのでサッカー観戦に行きました。

月曜日に初めてワイパフ高校に行き, さっそく自己紹介をみんなの前でするということで, 事前に教えてもらったジョークを使ってみたところ, ものすごくウケました。最高でした。

初日のサッカーの試合に勝ったので僕がホームステイをする間はホストブラザーの練習があり毎日学校が終わってからその2時間ほどひとりの時間があつたため, その間に勉強をしたり寝たりして, できるだけ疲れを溜めないようにしました。

ハワイに行ったらすぐはネイティブの英語を聞き取ることが難しく、4日ほど自分の英語力に落胆しました。ホストファミリーは、僕が聞き取れなかったときは、ゆっくりと会話し、また簡単な単語で言ってくれ、聞き取れるようになりすごく自信がつけました。

ご飯は外食が多く、常におなかがいっぱいというアメリカンスタイルにも慣れてきて食事

も楽しむことができました。ホストファミリーはビーチやショッピングなど本当にいろんな場所に連れて行ってくれました。どこも日本とは違う風景や景色で、とても新鮮でした。

ホームステイ中に、このホストファミリー先に、2年前にホームステイしていた葦陽高校の先輩が訪れました。たくさん話をしたり遊んだりしてものすごく充実していました。

最初は不安や落胆で、ファミリーと過ごす時間は楽しいけれど精一杯楽しんでいませんでした。しかしいろんな場所に一緒に行ったり、ハワイでできた友だちと毎日会話したり、ハイキングに行ったり観光に行ったりしていると、そういうマイナスなことはいつの間にか一切感じなくなっていて精一杯、そして十二分に楽しんでいました。

あっという間に時間は過ぎていて、お別れの日の2日前のグッバイディナーの日がやってきました。葦陽高校の生徒とそのホストファミリーみんなが集まって食事会をするグッバイディナーではいろんな人がみんなの前で話して、僕もすべて英語で話しました。いろいろ思い出して頭の中で英文を作っていると、涙が出そうになりましたが、しっかりとこらえて、今自分が伝えることができることを自分のホストファミリーに向けて言いました。うまく伝わっていただければいいなと思います。帰りの車でホストファザーにそのスピーチのことで褒められたのがものすごく嬉しかったです。

お別れの日はすぐに来ました。まだ居たいという思いでいっぱいでしたが、来年にホストファミリーと旅行へ行く約束をしたし、再来年は僕がまたハワイに行くということも伝えたので、もう思い残すことはありませんでした。



日本に着くと空気が冷たく、そして寂しく感じたのでハワイで出会った人たちの暖かさを改めて感じることができました。ですがこのような貴重な体験をできたのもお父さんお母さんや学校、ホストファミリーのおかげなので自分が今どれほどよい環境におかれているのかも同時に感じました。本当に感謝いっぱいです。ありがとうございました。

Thank you so much. Mahalo!

